



西濃の風

岐阜県立西濃高等特別支援学校
学校だよりR2 第1号
令和2年4月14日 発行

○西濃高等特別支援学校創立3年目を迎えました！

生徒の皆さん、元気ですか？平成30年4月に開校した本校は、今年度3年目を迎えました。4月1日に新たに10名の先生方をお迎えしました。また、新入生は24名が入学しました。残念ながら、始業式や入学式を行うことができず、皆さんは臨時休業のまま、家庭での新年度スタートとなりました。顔を合わせたの始まりではなかったのですが、皆さんには、4月8日付で今年度の始まりについての文書を送付しました。こんな時でも、こんな時だからこそ、『自分で考え、行動する力』とは何かを深く追求し、身に付けてほしいと思います。どうしても不安なことがあれば、学校に電話をしてください。また、相談窓口の紹介もしていますので、いつでも利用していいですよ。

■非常事態宣言を受けて ー自覚ある行動がもとめられますー

さて、岐阜県では非常事態宣言が4月10日に発表されました。すべての学校は、5月6日まで臨時休業となり、3月2日から約2ヵ月以上となります。この意味をちゃんと理解しましたか？一人一人が自覚ある行動をし、これ以上新型コロナウイルス感染症拡大にならないように協力しなければなりません。不要不急の外出を控えること、『三つの密』を避けることをしっかりと継続しなければなりません。

しかし、家の中でゴロゴロしたり、ダラダラとスマホやゲームをすることではありません。一日の生活のリズムを確立し、家族の一員としての役割を担うこと、そして何より、学習時間を確保し、これまでの学習内容を復習したり、学校の課題に取り組むことです。

学校の課題については、分からないところを自分で調べたりして、なんとか解決してほしいです。そして、同じ問題を1回だけでなく、繰り返して解くことにより、理解が深まりますので、ぜひ、挑戦してみましょう。

また、新聞やニュースの内容をメモしたりして、自分の目や耳で確かな情報を収集することや分析する力を高めてほしいです。収集方法を調べたり、工夫してみてください。

○皆さんに会えるのを楽しみにしています！

先生からのメッセージ(第一弾) 教務部長、生徒指導部長、進路指導部長から

教務部

私の一番の願いは、学校が再開されたときに69人全員が元気に登校し、新しい学校生活を一緒にスタートすることです。簡単なようで、難しいことでもあります。体調と気持ちを整える必要があるからです。そのために、あなたが頑張ることを家庭の方と一緒に学校も応援します！

生徒指導部

臥薪嘗胆(がしんしょうたん) 目的を果たすために、苦難に耐えて機会を待つこと。
皆さんの目的は何ですか？この学校での目標は「地域社会に貢献できる担い手になる」ことです。今まさに、地域社会の一員としての行動が求められています。
西濃の一員として困難を乗り越え、その先へ！！

進路指導部

とんでもない年度の始まりとなりました。しかし、これまでも10年に1度くらいはとんでもないことが起きています。負けず、歩みを止めず、自分の成長を信じれば、この危機も乗り越えることができます。自分が家でできることは何か考えて実行しよう。「何事も小さなことの積み重ね」